

強烈フォルムで存在感を際立たせろ!! GET WILD!!

300C・マグナム・チャージャー、LXプラットフォームをベースとするブラザーズは、市場に投入された当時、これまでにない新たなアメリカンパッケージの存在感を際立たせ、GMの存在感を揺るがせた。そして、ここ最近になって、その当時よりも、現在の方が活況を呈しているといえるかもしれない。それは様々な理由が考えられるが、何れともあれベース車両自体が、格好いいからであろう。

そんな中で、GMコーポレーションはこれまでに数多くの魅力的なモデルを作り出してきた。だが、LX系には計り知れないこだわりを持つ。それこそ3車3様のアレンジがなされてきたわけだが、その中心には獨創性に溢れたデザインと、日本国内製造による高い品質を誇るオリジナルインポートモディファイコレクションブランド「GIMMIC」(ギミック)を巧みに操りアップグレードさせてきたことがある。もちろんチャージャーも然り。

チャージャーはというと、攻撃的なルックスが最大の特徴だが、それをいかにしにしてしまっただけは意味がない。しかし、そんな心配は愚の骨頂だと思知らされたのがこのモデルである。

落ち着いた雰囲気がアダルティで、思わずそそられてしまつのはカブリリングの妙。純正色にはモノトーンからハイトーンまで揃っているが、採用されているガンメタ×オレンジパールの配色が見事で、それがさらにホイールやエンジンカバーといった細部まで行き渡っていることが、个性的なフォルムへと誘っている点に間違いはない。

それに、ボディにまと寄せたオリジナルボディキットのシルエツトが秀逸なのだ。フロントからリアに掛け、一連の狂いもなく流れるようなラインは、まるで鋭利な刃物のごとくシャープさが際立っていて、マッスルカーであることを盛り立ててくれている。

ちなみにこのチャージャーは販売車両。その価格は376万円。これだけのメイクが施されていて高いと見るか、安いと見るかは、アナタ次第。

落ち着いた風情の中に隠されたマッスルとしての本能



ワイド感を強調してくれる GIMMIC ワイドボディフェンダーとツライチで組み合わせるボトムスは、ボディ同色ペイントが施されたホイールはレグザミ・LX-8、サイズは22インチ。フロントは285/30R22、リアに295/30R22タイヤを履かせ、チャージャーらしい力強さを漂わせた。



CCFL & LED がインストールされたインナーブラックタイプのヘッドライトにスモークペイントを施し、ピレリグリルも組み合わせ、ワイルドな印象へと昇華。



オリジナルボディキット「GIMMIC ストリートモディファイキット」を全身にまとい、シャープなフォルムを強調させることでマッスルカーとしての本能を引き出し、攻撃性を煽る。



そのままでは味気ないエンジンカバーも同色化を施して雰囲気を演出。サイドミラーウインカーはベント風仕上げ。マフラーは両サイド出しのデュアルタイプに換装。チップは125mm。



ボディカラーの配色次第でいかようにもイメージは変えられるが、ガンメタ×オレンジパールという組み合わせはシックな装いを際立たせ、チャージャーの野生をひた隠す。



鋭利な刃物のごとくフォルムを研ぎ澄ませつつも、大人の色気が漂う落ち着いた着ぎで、攻めの姿勢が売りともいえるチャージャーを別次元へと昇華させる。

撮影◆相場恒弘 原稿◆編集部
取材協力◆GM corporation Tel 048-979-7432 www.gmblog.net

攻撃的なルックスをGIMMICで助長させ ワイルドさに磨きを掛けたCHARGER!!

DODGE CHARGER R/T